

2020年12月1日  
宮下製氷冷蔵株式会社

## 信州産のCO<sub>2</sub>フリー電力を導入します

弊社は2020年12月1日より、中部電力ミライズ株式会社から長野県企業局の運営する水力発電所の電力を調達し、製氷ラインで活用することとなりました。

これは地元信州の豊かな水資源から生まれる、地球にやさしいエネルギー「信州Green でんき」を活用することで、実質的な温室効果ガスの削減とエネルギーの地産地消を同時に実現する取り組みとなります。

弊社は自然豊かな信州の大地が育んだ水「信州深層天然水」で氷を製造しています。今回の取り組みは、今年竣工したブロック氷製造ラインにおいて、製氷から加工に至る50万kwh/年のエネルギーを県内の水力発電由来のCO<sub>2</sub>フリー電力に置き換えます。

これにより年間CO<sub>2</sub>排出削減量226t、杉の木換算で約16,000本分相当の環境負荷低減につながります。

信州のおいしい水と、信州の水資源から生まれた電力で高品質な氷をつくり、環境性能の高い商品として信州ブランドを全国に発信してまいります。

### \* 「信州Green でんき」プロジェクト

長野県企業局が運営する美和発電所、春近発電所等の長野県内17カ所の水力発電を活用して、CO<sub>2</sub>フリーや地産電源を、長野県内や大都市圏に販売することで、長野県の地域貢献をめざす取り組み。

[https://www.chuden.co.jp/publicity/press/3272617\\_21432.html](https://www.chuden.co.jp/publicity/press/3272617_21432.html)